

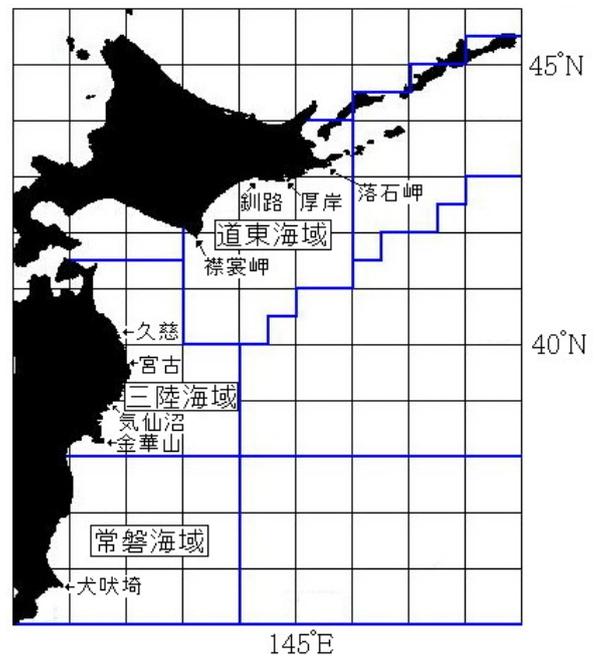
## 2025年度 第4回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2025年10月中旬～11月下旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月中旬は中位水準で増加する。
- ・三陸海域では、10月下旬になると来遊がある。
- ・常磐海域では、11月上旬になると来遊がある。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、源  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

# 2025年度 第4回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2025年10月中旬から11月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は増加し、10月中～下旬は中位水準で推移する。来遊量は11月上旬から減少し、11月中～下旬は断続的となる。

#### (2) 漁場

道東海域では、10月中～下旬は落石～厚岸沖と襟裳岬沖に、11月上旬は襟裳岬沖に漁場が形成される。11月中～下旬は、漁場は形成されない。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月中旬は魚群の来遊は無い。10月下旬～11月上旬は、低位水準で増加する。11月中旬は低位水準で推移し、11月下旬は低位水準で減少する。

#### (2) 漁場

10月中旬は、漁場は形成されない。10月下旬は三陸北部に、11月上～中旬は三陸北部～南部に、11月下旬は三陸南部に漁場が形成される。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

10月中～下旬は、魚群の来遊は無い。11月上～中旬は、低位水準で増加する。11月下旬は低位水準で推移する。

#### (2) 漁場

10月中～下旬は、漁場は形成されない。11月上～中旬は常磐北部に、11月下旬は常磐北部～南部に漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位水準	低位減少	断続的	断続的
	漁 場	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	襟裳岬沖		
三陸海域	来遊量					
	動向		低位増加	低位増加	低位水準	低位減少
	漁 場		三陸北部	三陸北部 ～南部	三陸北部 ～南部	三陸南部
常磐海域	来遊量					
	動向			低位増加	低位増加	低位水準
	漁 場			常磐北部	常磐北部	常磐北部 ～南部

### 3. 漁況の経過概要（9月下旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

CPUE（1網あたりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、9月中旬を下回り、前年を上回った。日別CPUEから判断すると、来遊量は期半ばに増加し、その後減少した。

##### (2) 漁場

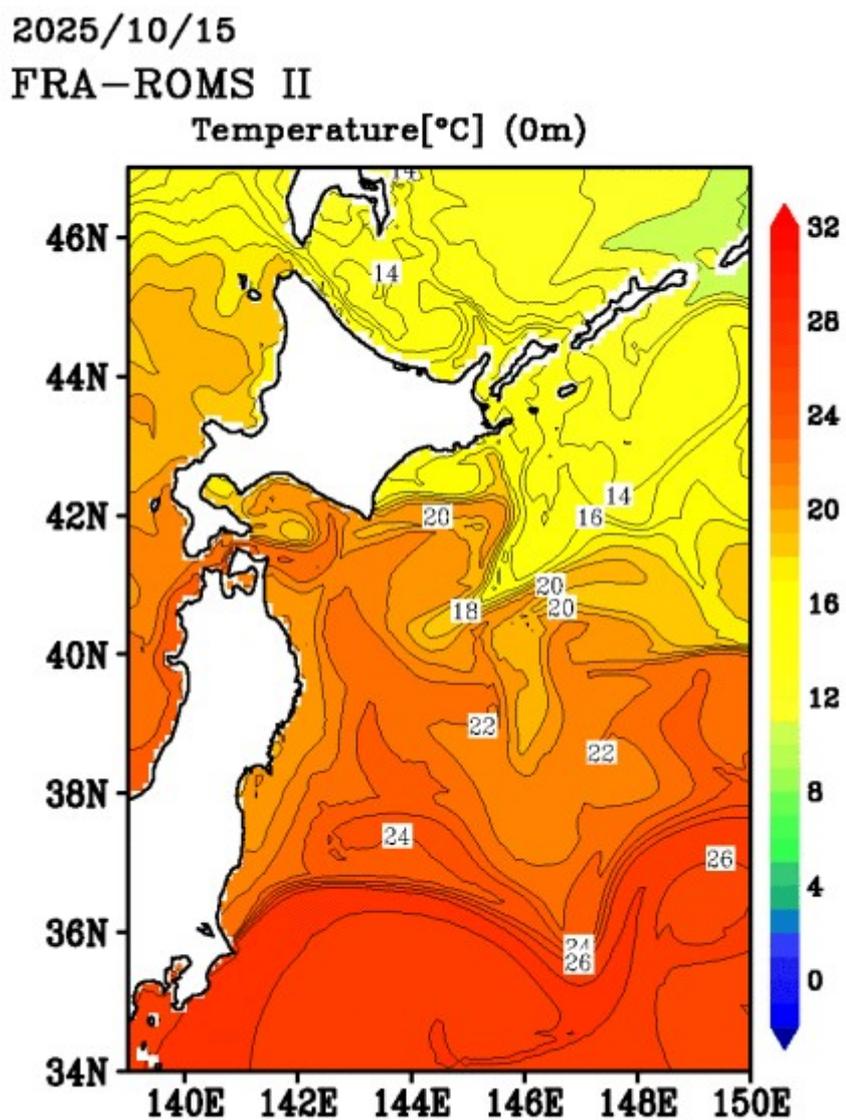
道東海域では、落石南60～130海里に漁場が形成された。落石南30～100海里の漁場水温10～18℃では、大型船1～40隻程度と小型船多数操業し、大型船で最高110トン、平均17.9トン漁獲した。

道東海域より南東側の公海である落石南東220～260海里の漁場水温16～19℃では、大型船1～30隻程度操業し、大型船で最高で70トン、平均18.2トン漁獲した。

##### (3) 魚体

体長27～32cmが主体、体重80～150g台が主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

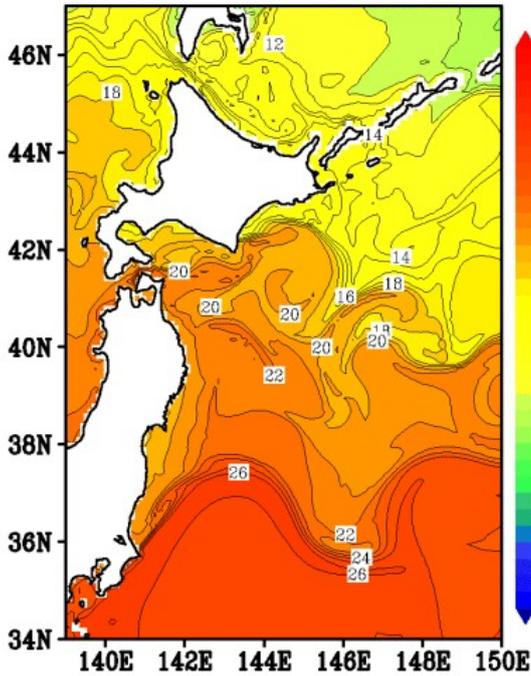


海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温 (2025年10月15日)  
2025年10月6日にHPより取得した

2025/10/25

FRA-ROMS II

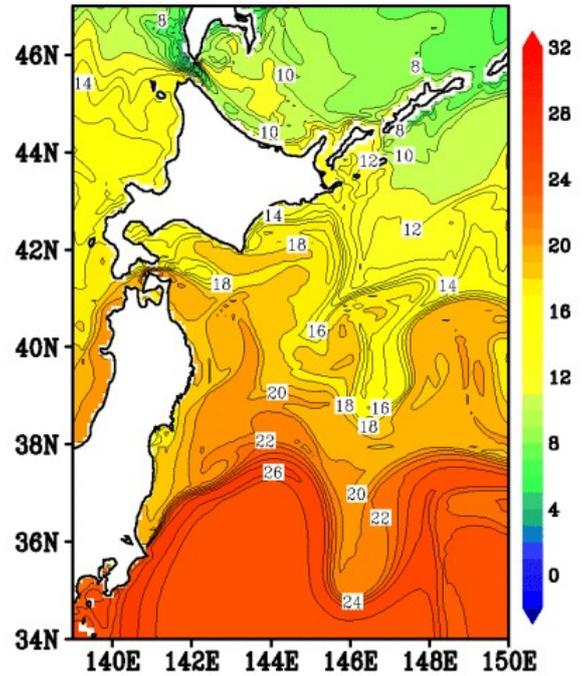
Temperature[°C] (0m)



2025/11/05

FRA-ROMS II

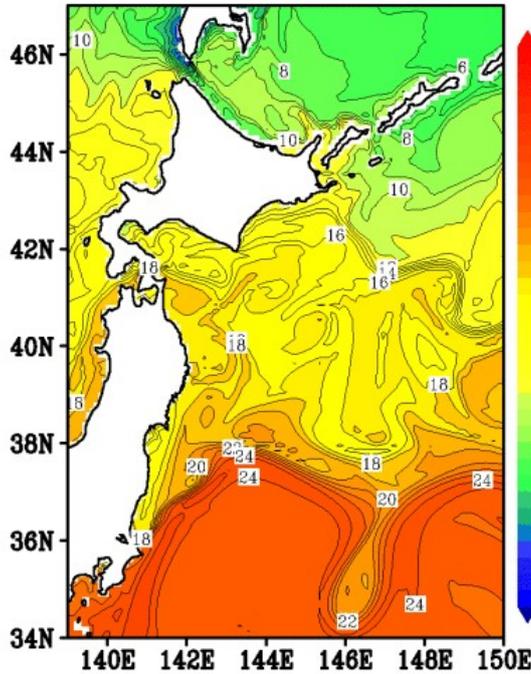
Temperature[°C] (0m)



2025/11/15

FRA-ROMS II

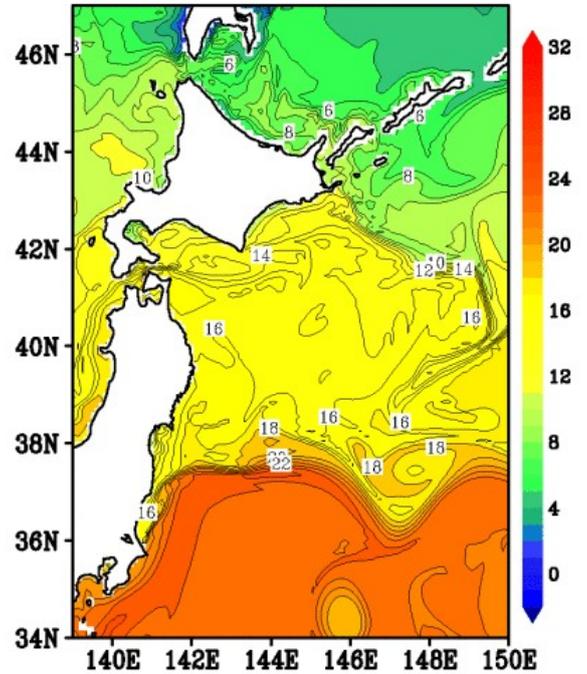
Temperature[°C] (0m)



2025/11/25

FRA-ROMS II

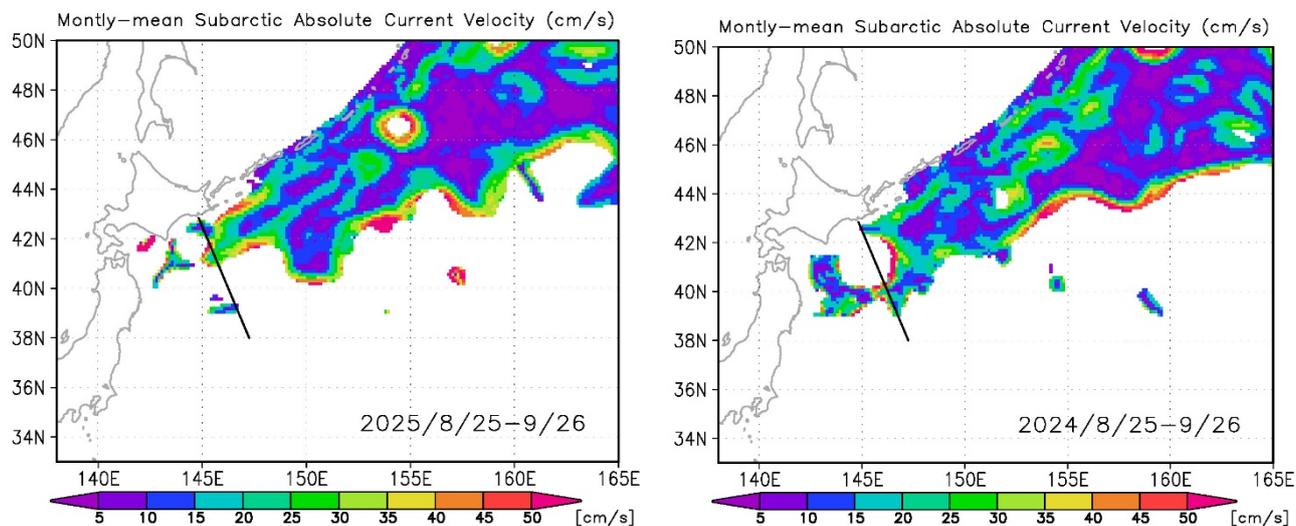
Temperature[°C] (0m)



海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温  
2025年10月25日(左上)、11月5日(右上)、11月15日(左下)、11月25日(右下)  
2025年10月6日にHPより取得した

## 5. 付属情報

人工衛星による海面高度データに基づいた8月25日～9月26日の西部亜寒帯循環の流路（2024年、2025年）



西部亜寒帯循環の月平均地衡流速（左図：2025年、右図：2024年）

西部亜寒帯循環は北西太平洋亜寒帯全域の海流の循環であるが、親潮はその南西端にあたる。人工衛星の海面高度計によって得られたデータから、この海流の強さと流路を推定することができる。今年の親潮第一分枝の差し込みは、昨年度に比べて道東沖の暖水渦の影響が小さい為、南西方向への張り出しが大きく、海洋観測地点A-line（図中実線）まで到達している。亜寒帯循環の月平均地衡流速の計算には、E. U. Copernicus Marine Service Informationを利用している (<https://doi.org/10.48670/moi-00149>)。

## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---